

未来社会のデザイン

人口減少・持続可能性を視野に

全 4 回
定員 12 名

会場

札の辻スクエア
港区芝5丁目3-6-4

参加費

1 万円 (4回分)
※学生は5千円

日程

- | | |
|---|--------------------|
| 1 | 2026年
2月26日 (木) |
| 2 | 3月5日 (木) |
| 3 | 3月11日 (水) |
| 4 | 3月19日 (木) |

- 各回18:00~19:30
講義 (60分) + 質疑 (30分)
- 第4回は参加者発表回

私たちは今、先の見えない時代、大きな歴史の転換点にいます。

そうした時代であればこそ、いったん目の前の動きから少し距離を置いて、中長期的な時間軸で私たちの来し方・行く末をとらえることが重要になるでしょう。

気候変動などをめぐる「持続可能性」の課題、そして2100年にはピーク時の半分にまで減少すると予測されている「人口減少」。

こうした状況の中で人々の価値観や幸福、社会システム、都市やコミュニティ、科学・技術の意味、死生観等々はどう変容するのか？

本セミナーは講師と共に、資本主義／ポスト資本主義や人類史といった大きな視座も踏まえながら、未来社会をどのようにデザインしていくか多角的に考えていく全4回の少人数連続セミナーです。



参加申込

26年1月30日〆切

<https://hiroi202602.peatix.com>

広井良典 京都大学名誉教授

1961年岡山市生まれ。東京大学教養学部卒業（科学史・科学哲学専攻）、同大学院修士課程修了後、厚生省勤務、千葉大学教授、京都大学教授を経て2025年4月より京都大学名誉教授。専攻は公共政策及び科学哲学。『日本の社会保障』でエコノミスト賞、『コミュニティを問いなおす』で大仏次郎論壇賞受賞。他に『ポスト資本主義』、『人口減少社会のデザイン』、『無と意識の人類史』、『科学と資本主義の未来』など著書多数。